

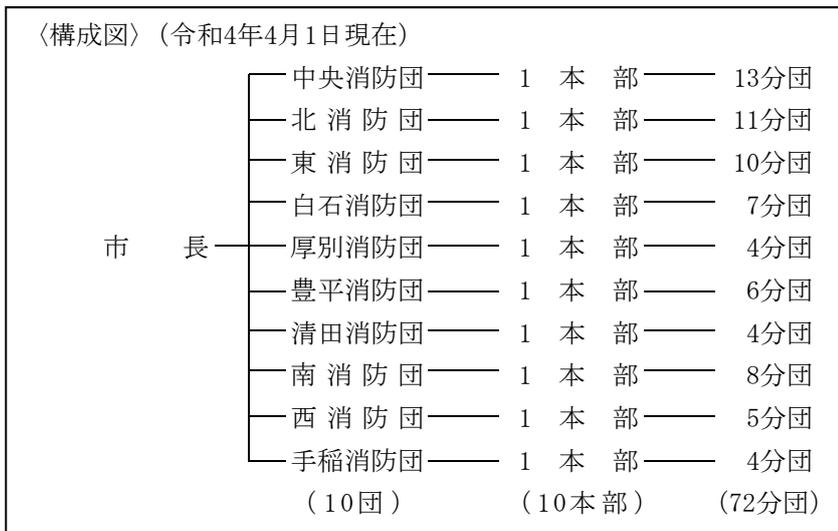
# 消 防 団



消 防 団 の 概 要

1. 消 防 団 の 組 織

消防団は、消防署とともに行政区域を単位として設置しており、札幌市消防団条例に基づき、10消防団・10本部・72分団、定員2,150人の構成をもって組織している。



2. 消 防 団 の 事 務

消防団の事務は、消防局職員課が主管となり、さらに各消防署予防課庶務係において、消防団本部と連携をとり執行している。

令和3年度中における消防団事務の概要は、次のとおりである。

(1) 任免状況

125人が退職し、新たに155人を採用し、48人が昇任している。

(2) 表彰状況

消防功勞により叙勲13人、消防庁長官表彰5人、北海道知事表彰80人、日本消防協会会長表彰39人などを含め、総数517人、10団体に対して表彰があった。

3. 消 防 団 の 活 動

消防団員は非常勤の地方公務員として、火災をはじめ、風水害など自然災害の有事における災害防除、さらには防火思想の普及を図るために火災予防運動など各種の活動を行っている。

(1) 災害及び予防活動等の出動状況

令和3年中における消防団の災害等出動は、火災364人、予防及び警戒6,198人となっている。

(2) 研修訓練等の状況

消防活動技術の向上を図るため、消防団業務計画を策定し、学科研修をはじめ各種災害を想定した訓練を実施し、延べ3,047人が出動した。

(3) その他の状況

消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具点検、消防水利調査等に延べ6,078人が出動した。

4. 札幌市10消防団連合協議会（平成17年4月1日設立）

全市的な消防団の施策を展開するため、各消防団相互の横断的な情報の共有及び各消防団管轄区域の地域実情に応じた消防団活動を実施し、これらを包括的に支援し、消防団本来の任務を達成するために設立された。

5. 消防団協力事業所表示制度（平成19年10月1日施行）

消防団と事業所の協力体制を促進するため、消防団に協力している事業所に対し、社会貢献の証として表示証を交付する制度を発足した。交付事業所数は令和4年4月1日現在40事業所となっている。

消防団員定員現員状況（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

区	分	総数	団長	副団長	分団長 (本部長を含む)	副分団長 (副本部長を含む)	部長	班長	団員
総数	定員	2,150	10	20	82	88	270	414	1,266
	現員	1,721	10	20	82	82	233	345	949
	(女性)	408	-	-	(3)	(9)	(43)	(97)	(256)
中央	定員	279	1	2	14	15	38	64	145
	現員	196	1	2	14	13	27	44	95
	(女性)	46	-	-	(1)	(2)	(6)	(13)	(24)
北	定員	298	1	2	12	13	39	61	170
	現員	251	1	2	12	12	38	53	133
	(女性)	51	-	-	-	(1)	(3)	(12)	(35)
東	定員	299	1	2	11	12	39	59	175
	現員	245	1	2	11	10	33	54	134
	(女性)	43	-	-	-	-	(5)	(9)	(29)
白石	定員	210	1	2	8	9	26	40	124
	現員	180	1	2	8	9	26	39	95
	(女性)	43	-	-	-	(1)	(4)	(14)	(24)
厚別	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	103	1	2	5	5	14	23	53
	(女性)	29	-	-	1	-	(1)	(7)	(20)
豊平	定員	210	1	2	7	8	25	37	130
	現員	141	1	2	7	7	17	28	79
	(女性)	43	-	-	(1)	(2)	(6)	(12)	(22)
清田	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	119	1	2	5	5	13	21	72
	(女性)	30	-	-	-	-	(1)	(6)	(23)
南	定員	250	1	2	9	10	31	47	150
	現員	187	1	2	9	10	27	38	100
	(女性)	49	-	-	-	(1)	(8)	(9)	(31)
西	定員	200	1	2	6	6	24	34	127
	現員	189	1	2	6	6	21	26	127
	(女性)	41	-	-	(1)	-	(4)	(9)	(27)
手稲	定員	144	1	2	5	5	18	26	87
	現員	110	1	2	5	5	17	19	61
	(女性)	34	-	-	-	(2)	(5)	(6)	(21)

（注） 女性団員数は内数である。

消防団員任免状況（令和3年度中）

（単位：人）

区	分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
採	用	155	11	21	22	16	6	16	15	7	21	20
昇	任	48	8	-	6	5	2	-	11	11	-	5
退	職	125	17	23	22	7	9	10	10	8	10	9

消防団員表彰状況（令和3年度中）

（単位：人、団）

区 分	総 数	功労などの賞	永年勤続	優良消防団	退職消防団員
<b>総 数</b>	<b>517</b>	<b>57</b>	<b>444</b>	<b>10</b>	<b>6</b>
叙 勲	13	13	-	-	-
消 防 庁 長 官	5	-	5	-	-
知 事	80	2	78	-	-
市 長	111	-	95	10	6
団 長	10	10	-	-	-
10 団 連 会 長	1	1	-	-	-
日 本 消 防 協 会 長	39	9	30	-	-
北 海 道 消 防 協 会 長	258	22	236	-	-

消防団員出動状況（令和3年中）

（単位：回、人）

区 分	総 数		火 災		研修・訓練		予防・警戒		そ の 他	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
<b>総 数</b>	<b>5,054</b>	<b>15,687</b>	<b>196</b>	<b>364</b>	<b>881</b>	<b>3,047</b>	<b>1,855</b>	<b>6,198</b>	<b>2,122</b>	<b>6,078</b>
中 央	665	1,752	35	59	62	88	269	785	299	820
北 東	913	3,415	24	39	127	289	501	1984	261	1103
白 石	800	2,511	10	18	159	820	306	965	325	708
厚 別	468	1,360	35	83	124	446	133	487	176	344
豊 平	372	1,036	37	52	52	114	96	256	187	614
清 田	411	1,055	8	12	69	201	148	377	186	465
南	368	1,010	5	7	67	231	131	296	165	476
西	466	1,525	24	49	110	520	131	386	201	570
手 稲	334	1,362	15	39	52	197	80	457	187	669
手 稲	257	661	3	6	59	141	60	205	135	309

- （注） 1. 回数のうち、火災については出動した件数、他は団又は分団単位の出動回数である。  
 2. その他は、消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具特別点検、消防水利調査などである。  
 3. 人員は、延べ人員である。

研修・訓練実施状況（令和3年中）

（単位：人）

	区 分		目 的	人 員
	研 修 ・ 訓 練	所属研修	実科・学科研修	団員としての必要な知識、技術を習得し資質の向上を図る。
学校研修		基礎教育課程	火災予防及び消火活動上必要な基礎知識の習得を図る。	105
所属訓練		基本・応用訓練等	団員として必要な知識・技術を習得し災害対応能力の向上を図る。	1,343
		防災訓練	防災に関する知識技能の習得及び有事即応の防災体制の確立と防災思想の普及を図る。	369
訓練大会		各消防団訓練大会	団員の体力気力の鍛練と消防技術の向上を図る。	20
その他				578
<b>合 計</b>				<b>3,047</b>

（注） 1. 実施人数は、延べ人数である。

2. その他は、札幌市10消防団連合協議会事業計画外に行われた各団独自の研修・訓練等（訓練礼式・ポンプ操作等）である。

年齢別消防団員数（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

区 分	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
総 数	1,721 (409)	10 -	20 -	82 (4)	82 (9)	233 (43)	345 (97)	949 (256)
20 歳 未 満	19 (2)	-	-	-	-	-	-	19 (2)
20 ～ 24	63 (12)	-	-	-	-	-	2	61 (12)
25 ～ 29	32 (7)	-	-	-	-	-	1	31 (7)
30 ～ 34	42 (10)	-	-	-	-	-	2	40 (10)
35 ～ 39	102 (19)	-	-	-	-	2 (1)	11 (2)	89 (16)
40 ～ 44	174 (41)	-	-	1	1	13 (2)	22 (3)	137 (36)
45 ～ 49	293 (85)	-	-	3	4 (1)	24 (6)	63 (21)	199 (57)
50 ～ 54	269 (73)	-	-	4	8	33 (2)	77 (20)	147 (51)
55 ～ 59	265 (57)	-	2	16 (1)	21 (4)	53 (7)	54 (14)	119 (31)
60 ～ 64	186 (47)	1	4	19	14 (2)	47 (8)	48 (19)	53 (18)
65 歳 以 上	276 (56)	9	14	39 (3)	34 (2)	61 (17)	65 (18)	54 (16)

（注）（ ）は、女性団員数で内数

勤続年数別消防団員数（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

区 分	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
総 数	1721 (409)	10 -	20 -	82 (4)	82 (9)	233 (43)	345 (97)	949 (256)
1 年 未 満	140 (42)	-	-	-	-	-	-	140 (42)
1 ～ 4	311 (82)	-	-	-	-	-	4 (2)	307 (80)
5 ～ 9	322 (101)	-	-	3	1	9 (5)	53 (19)	256 (77)
10 ～ 14	306 (71)	-	-	4 (1)	7	33 (7)	117 (32)	145 (31)
15 ～ 19	227 (61)	-	-	7	15 (4)	60 (10)	86 (28)	59 (19)
20 ～ 24	158 (37)	-	1	9	19 (4)	54 (14)	52 (12)	23 (7)
25 ～ 29	101 (7)	1	2	17 (1)	19	38 (5)	15 (1)	9 -
30 ～ 34	78 (8)	-	6	24 (2)	9 (1)	23 (2)	11 (3)	5 -
35 ～ 39	48 -	6	8	7	9	10	4	4 -
40 ～ 44	22 -	1	2	9	2	5	2	1 -
45 年 以 上	8 -	2	1	2	1	1	1	- -

（注）（ ）は、女性団員数で内数

職業別消防団員数（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

区 分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
<b>総数</b>	<b>1,721</b>	<b>196</b>	<b>251</b>	<b>245</b>	<b>180</b>	<b>103</b>	<b>141</b>	<b>119</b>	<b>187</b>	<b>189</b>	<b>110</b>
サービス業（他に分類されないもの）	177	21	29	28	21	8	12	12	24	13	9
医療、福祉	124	15	22	11	11	8	10	15	7	17	8
運輸業、郵便業	73	6	6	8	12	11	7	-	8	11	4
卸売業、小売業	256	38	25	35	17	13	31	15	31	37	14
学術研究、専門・技術サービス業	47	10	5	9	6	3	3	4	3	4	-
教育、学習支援業	37	9	4	3	4	-	4	3	1	8	1
金融業、保険業	52	10	8	5	9	4	2	2	8	2	2
建設業	230	7	47	38	23	7	14	18	26	30	20
公務（他に分類されるものを除く）	31	3	6	3	2	3	-	5	3	3	3
鉱業、採石業、砂利採取業	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1
宿泊業、飲食サービス業	75	11	13	8	2	4	8	5	18	5	1
情報通信業	29	3	8	1	5	-	5	3	2	2	-
生活関連サービス業、娯楽業	66	11	7	9	6	6	6	3	8	6	4
製造業	82	9	9	18	10	5	5	5	3	9	9
電気・ガス・熱供給・水道業	29	2	6	5	1	1	1	3	2	5	3
農業、林業	58	-	10	21	9	2	-	1	13	1	1
不動産業、物品賃貸業	88	16	13	19	14	5	6	3	5	5	2
複合サービス事業	5	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-
分類不能の産業	20	5	2	2	5	2	-	-	-	2	2
その他（学生・主婦など）	239	19	27	21	23	21	27	22	24	29	26

（注） 職業は、統計調査に用いる産業分類を定める政令（昭和26年政令第127号）に基づく産業分類による。

消防団施設・機器配置状況（令和4年4月1日現在）

区 分	器 具 置 場 数	軽可搬消防ポンプ台数	車 両 台 数
<b>総 数</b>	<b>72</b>	<b>82</b>	<b>4</b>
中 央	10	14	-
北	15	16	-
東	10	11	1
白 石	7	7	-
厚 別	4	4	-
豊 平	5	6	-
清 田	4	5	1
南	8	9	1
西	5	5	-
手 稲	4	5	1

（注） 器具置場数には、署所内配置も含む。